

平成24年度定期作況報告

7月20日現在
道総研根釧農業試験場

気象概況

6月下旬から7月中旬までの気象概況は次のとおりである。

6月下旬 :最低気温は8.8 で平年より1.4 低かったが最高気温が18.9 で平年並であったため、平均気温は13.9 で平年並であった。降水量は41mmで平年並であった。日照時間は67.6時間で平年より26.5時間多かった。

7月上旬 :最高および最低気温が19.7および12.0 でそれぞれ平年並であったため、平均気温は15.9 で平年並であった。降水量は24mmで平年より10mm少なかった。日照時間は26.2時間で平年より9.8時間少なかった。

7月中旬 :最高および最低気温が20.1および12.3 でそれぞれ平年並であったため、平均気温は16.2 で平年並であった。降水量は51mmで平年並であった。日照時間は25.0時間で平年並であった。

この1ヶ月間は6月下旬に日照時間が極めて多かったが、総じて気温、降水量、日照時間ともに平年並に推移した。

気象表

項目	6 月 下 旬			7 月 上 旬			7 月 中 旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ()	13.9	14.8	0.9	15.9	15.5	0.4	16.2	16.5	0.3	15.3	15.6	0.3
最高気温 ()	18.9	19.4	0.5	19.7	19.6	0.1	20.1	20.6	0.5	19.6	19.9	0.3
最低気温 ()	8.8	10.2	1.4	12.0	11.3	0.7	12.3	12.4	0.1	11.0	11.3	0.3
降水量 (mm)	41.0	42.0	1.0	24.0	34.0	10.0	51.0	48.0	3.0	116.0	124.0	8.0
降水日数 (日)	4	5.1	1.1	5	3.8	1.2	2	4.6	2.6	11	13.5	2.5
日照時間 (時間)	67.6	41.1	26.5	26.2	36.0	9.8	25.0	28.8	3.8	118.8	105.9	12.9

注1)平年値は前10カ年平均値

2)日照時間の平年値は、アメダス観測値より算出

3) は負の値を示す

当场作況

1. とうもろこし

作況： やや不良

事 由

6月下旬以降、気象は平年並に推移したが、平年と比べ、とうもろこしの草丈は低く、出葉数は少なかった。

極めて低温であった6月中旬（前報）の影響が残ったほか、7月上旬の少雨により生育自体が停滞したためと考えられる。

これらのことから、目下の作況はやや不良と判断される。

品 種	草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
たちぴりか	78	-	-	9.4	-	-
(ばぴりか)	78	95	17	8.6	9.9	1.3

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当场のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 「たちぴりか」は、草丈や出葉数といった項目について過去のデータ蓄積が不足しているため、参考として下段に、「ばぴりか」における調査結果を記載する。

4) 「ばぴりか」の平年値は前7カ年のうち、最豊作の平成19年および最凶作の平成21年を除く5カ年の平均値である。

5) は減を表す。

2. 牧草

(1)採草型(チモシー単播)

作況：1番草 やや良

2番草 並

事由

1番草：出穂期は平年より2年目で3日、3年目で2日遅かった。草丈は2年目草地では110cm、3年目草地では112cmで平年並であった。乾物収量は2年目草地は682kg(平年比108%)、3年目草地は690kg/10a(平年比110%)であった。越冬時に雪腐れ大粒菌核病が多発したが、4月下旬・5月上旬の気温が平年よりも高く推移したことなどにより、生育が回復したと考えられた。

以上のことから本年1番草の作況はやや良である。

草地	1番草 出穂期(月.日)			1番草刈取日(月.日)			1番草刈取時草丈(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目	6.28	6.25	3	6.28	6.25	3	110	108	2
3年目	6.26	6.24	2	6.28	6.25	3	112	108	4

	1番草						
	生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較(平年比指数)	
2年目	3270	3017	253	682	631	51	(108)
3年目	3415	2943	472	690	629	61	(110)

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：平成17～23年のうち、最凶年と最豊年を除く5カ年平均値。

3) は減を示す。

2番草：7月20日現在のチモシーの草丈は35～36cmで、平年より1cm低い。従って現時点での2番草の作況は並と判断される。

	2番草 7月20日草丈(cm)						
	2年目草地			3年目草地			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
チモシー単播	35	36	1	34	35	1	

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：平成17～23年のうち、最凶年と最豊年を除く5カ年平均値。

(2)放牧型(オーチャードグラス単播)

作況：2番草 やや不良

作況：3番草 やや不良

事 由

2番草：草丈は平年より2年目草地で3cm高く、3年目草地で逆に13cm低かった。乾物収量は2年目で253kg/10a(平年比128%)であったが、3年目では99kg/10a(平年比52%)と大幅な減収になった。3年目草地の収量が極端に低かったのは、冬損による欠株が多かったためと考えられる。

以上のことから放牧型2番草の作況はやや不良である。

3番草：2番草刈取り後、気温は平年並みに推移したが、7月20日現在の草丈は平年より9~15cm低く、現時点での作況はやや不良と判断される。

草 地	草種	2 番 草						3 番 草		
		刈取り月日			草 丈 (cm)			7月20日草丈 (cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目	OG単播	7. 1	7. 1	0	71	68	3	40	51	9
3年目	OG単播	7. 1	7. 1	0	54	67	13	38	53	15

草 地		2 番 草					
		生草収量 (kg/10a)			乾物収量 (kg/10a)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較 (平年比指数)
2年目	OG単播	1409	1059	350	253	198	55 (128)
3年目	OG単播	606	985	379	99	192	93 (52)

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：平成17~23年のうち、最凶年と最豊年を除く5ヵ年平均値。

3) は減を示す。